

フタバアオイ

Asarum caulescens Maxim.

ウマノスズクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県内の生育地は少ない。現存個体数も少ない。(現況:RO)

形態

葉は薄く、2枚対生状につき、葉身は心臓形で、基部は深い心形で、へりには長い毛が規則正しく並んでいる。花は淡紅色で葉腋から細い柄を出して地表近くに下向きに咲く。花弁はなく、花筒はわん形で内側に隆起がない。

国内分布

本州(東北地方南部以南)、四国、九州。

県内分布

南加賀区、口能登区。

生態など

高さ15cmほどの小形多年草である。開花期は5月。果実は偽漿果で、種子は卵形でしわがある。

生育環境

湿った樹陰の林床に生育する。

危険要因

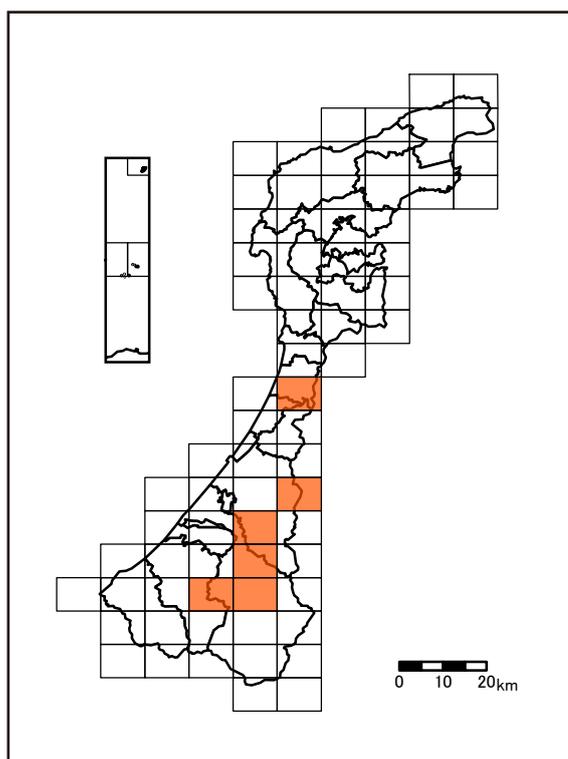
森林伐採、園芸採取、道路工事、自然遷移、産地局限。

特記事項

日本固有種。



本多郁夫・加賀中央



県内の分布